

あなたはメディア記者！ 記者会見感覚LIVEセミナー

# 「ところでどうなの？ 国際共同製作」

～早稲田大学留学経験がある 韓国人監督が 日本語で答える～

2014年、話題のキーワードは「記者会見」。記憶に残る数々のリアクションを繰り広げた会見がありました。記者会見のような先の読めない展開も魅力の一つと考え、一方通行の聴講セミナーではなく、会話のキャッチボールができるプチ参加型セミナーで開催します。

「海外との共同製作って？」、「海外から資金調達するのも発想のひとつ？」、「信頼できるパートナーはどこで探す？」・・・などの一歩踏み出す前に頭をよぎる様々な不安や疑問。お隣、韓国・中国の映像業界関係者は、想像できないほど貪欲で他国との共同製作や交流に積極的です。

安定した市場がある日本に居れば、感じないのは無理もないかもしれません。クランクインまでに経験する、様々な障害の話や他国との映像共同製作事情を知るのには、海外の業界人から聞く事が一番早いのではないのでしょうか？

今回は国際共同製作を実現された日本語が堪能な韓国人監督チョ・ジンギョ氏をお招きし、業界最前線の話や、他国との共同製作の手順や資金繰り、ご苦労話などを伺います。映画公開の宣伝ではない、純粋な国際共同製作事例紹介をお楽しみ下さい。メディア記者になった感覚で、書物やネットでは調べられない裏話などを監督から聞き出せる、またとない機会です。皆様のご参加をお待ちしています。

## ■1 実体験で語る国際共同製作の舞台裏 ～こうして韓中共同制作映画が生まれた。

2015年公開予定作品の、資金の確保～準備～撮影～編集～公開までを解説します。

企画 / 準備 / 撮影 / 編集 / 公開 の実例を紹介

## ■2 海外からの映像制作費獲得方法

- ・ 出資してもらうための心得
- ・ 映画祭などの企画市の活用法
- ・ 業界内で聞いた他国との共同制作の苦労話（制作・商習慣の違いなど）
- ・ 相手国のマーケットを知る。
- ・ 共同制作の軸足は、どちらへ？

## ■3 「ところで どうなの？」

ご参加の皆様から 監督に聞きたい質問を事前にお伺いし、チョ監督自身がお答えします。

## ■4 質疑応答



花嫁はギャングスター3 ～ソウルウェディング～

チョ・ジンギョ（監督 / 制作会社代表）

1960年生まれ。大邱嶺南大学美術学部西洋学科卒業後、来日。日本映画学校で学んだ後、早稲田大学大学院文学部映画理論科卒業。帰国後、テレビ制作会社などを経て映画界へ。2001年に公開された初監督作品「花嫁はギャングスター」は500万人以上を動員し、当時の韓国映画歴代4位に記録される大ヒットとなる。以降も「ギャング・コメディ映画」を次々ヒットさせ、2012年公開の「結界の男」も韓国で約400万人を動員し、「福岡国際映画祭2013」では「熊本市賞」を受賞するなど、韓国映画界を代表するヒットメーカーである。また2006年「花嫁はギャングスターソウルウェディング」では、香港スター スーチーを主演女優に起用。香港ロケを敢行するなど国際感覚を持つ、数少ない韓国人監督の一人。現在は、中国大手の映画会社と映画最新作の2015年公開を目指し共同製作進行中。



日時 2014年11月21日(金) 18:00～21:00

[セミナー 18:00～、交流会 20:00～]

会場 ソフト産業プラザ イメディオ (大阪南港 ATC)

定員 30名

受講料 1,000円 (交流会費込)

- 対象
- ・ 具体的に他国とのコラボをお考えのエンタメ業界関係者
  - ・ 映像制作会社経営者・プロデューサー、映像業界関係者
  - ・ アジア映画業界にご興味がある方

主催 ソフト産業プラザ イメディオ

協力 有限会社ラシャナル・エンターテイメント

お申込み ▶▶ WEB サイトから **イメディオ** で検索

